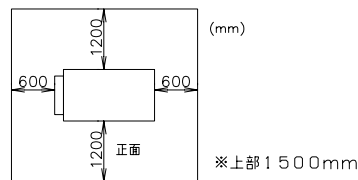
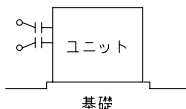


注1、ユニットの周囲には、最小下記のサービススペースを確保してください。

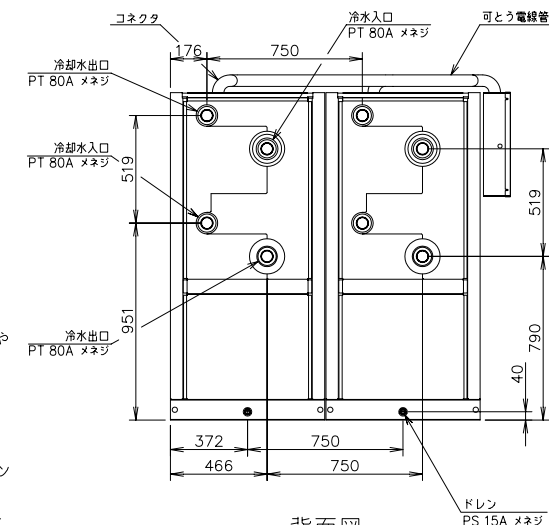


※上部1500mm

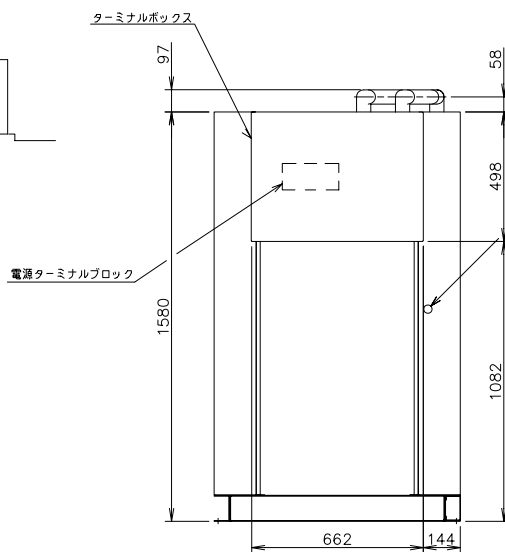
- 2、ユニット内に付属の取付金具にてユニットを連結固定してください。
- 3、水熱交換器への異物の流入を防ぐ為にクーラおよび凝縮器それぞれの入口側配管接続部には、20メッシュ程度のストレーナを必ず取付けてください。
- 4、据付ける現地では、付属のブラケット、ターミナルボックスの取付け、およびターミナルボックスと各モジュール間接続用の動力線の入った可とう電線管の配線・取付け、各モジュール間の信号線の接続が必要です。
- 5、水熱交換器および水配管の凍結事故を防ぐ為、長期間停止される場合や冬期に使用されない場合は、必ず水配管を不凍液で満たされるか、または、水抜きを行ってください。
- 6、循環ポンプはユニット毎に水熱交換器の入口側に取付けてください。また、ポンプ停止時に水熱交換器内の水が排出されないよう、必要により、逆止弁等を設置してください。
- 7、モジュール2台以上連結する場合は、水配管の接続をリバースターンとし、各モジュールへの流量が均一になるようにしてください。
- 8、モジュールにはA、Bのラベルが貼り付けられています。据付時には、スイッチボックス側から見て、左側からA機（親機）、B機（子機）の順に並ぶように各モジュールを設置してください。
- 9、冷水・冷却水の集合水配管は右図のように、空気溜り防止及び水抜きを考慮して据付けてください。
上側集合配管…空気溜り防止のため、
接続配管と水平もしくは上方→
下側集合配管…水抜きのため、
接続配管と水平もしくは下方→
- 10、本製品に採用しているプレート式熱交換器は、水質によってはスケールが付着する可能性があり、このスケールの除去のために定期的な薬品洗浄をする必要があります。このため、水配管には仕切弁を設け、この仕切弁とチャラーの間の配管には、薬品洗浄用の配管接続口を設けてください。
- 11、結露水が排出されるため、各モジュールにドレン配管を施工してください。



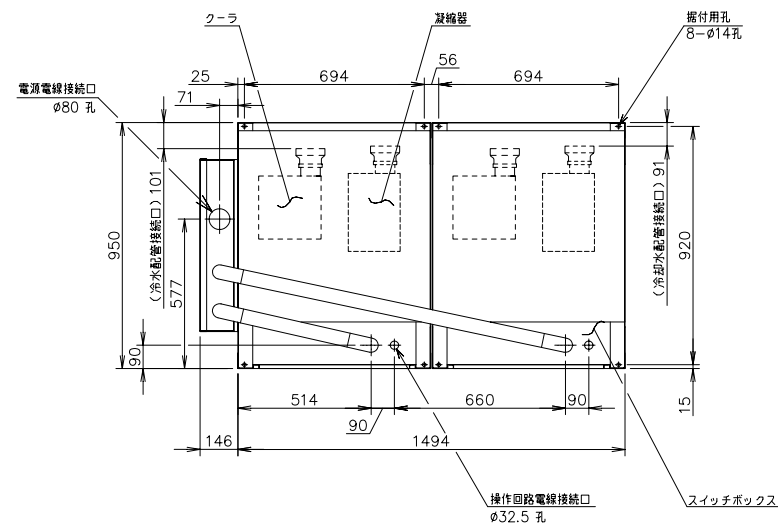
基礎



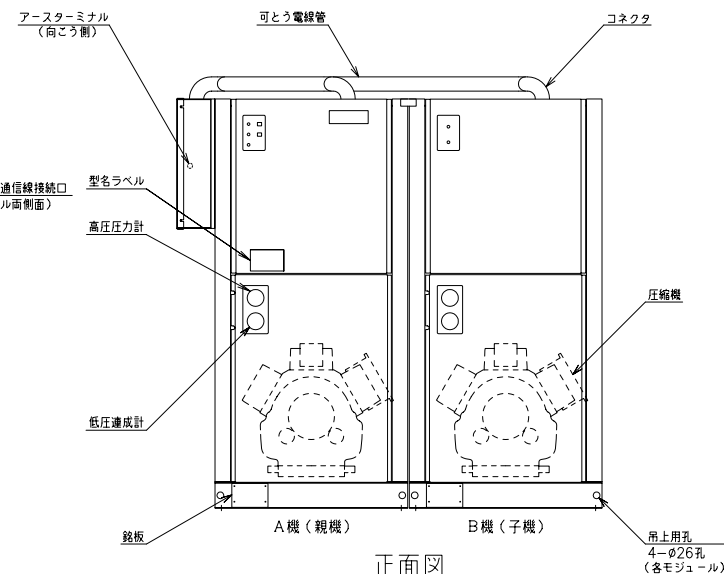
背面図



左側面図



平面図



正面図

適用機種		作成	照査	承認	JOB番号		品名	尺	
RUW-MRA0605	RUW-MRA0805				納入先		水冷モジュールチャラー 外形図	度	
RUW-MRA0605V	RUW-MRA0805V				客先		左記	NONE	
RUW-MRA0705		日付			東芝キャリア株式会社		図面番号	頁	改版
RUW-MRA0705V							T30MRA102-2	1 / 1	D